



私の歩み方

第7回

各分野で活躍する田原市出身の方を不定期でご紹介しています。

小川 泰弘さん (赤羽根町出身)・埼玉県戸田市在住
プロ野球：東京ヤクルトスワローズ／投手

●赤羽根小学校・赤羽根中学校を卒業。小学校3年から野球を始め、6年の夏には東海大会に出場し準優勝投手に。中学校時代は軟式野球部で愛知県大会4強。成章高校3年の春に甲子園出場。1回戦で駒大岩見沢高校に完投勝利した。創価大学（東京都）に進学後は、2年の春からエースとして活躍。昨年プロ野球ドラフト会議で、東京ヤクルトスワローズから2位指名を受け入団。プロ1年目からの活躍が期待される。

【大学時代の主な成績】

- 通算 36勝3敗 (35完投 23完封)、防御率 0.60
 - MVP、ベストナインを5回受賞
- 最優秀投手賞、最多勝、最優秀防御率を4回受賞
※東京新大学野球リーグ戦 (春・秋) のタイトル

今まで支えてくれた皆さんに感謝

—これまでの野球人生を振り返って

【小川さん】 プロ野球選手になることは、保育園の時から目標でした。何がそう思わせたのかは覚えていませんが、「行きたい」というよりは、自分は「行くんだ」と思っていました。

小学校3年生から地元少年野球チームに入りました。練習はとても厳しかったですが、今思えば、そのかきもあって、中学・高校、さらには大学と、ここまで頑張れたと思っています。

振り返ってみると、成章高校3年の春に出場した甲子園での1勝。大学時代の全国大学野球選手権大会への出場など、自分なりに頑張ってきたこれまでの努力を、関係者の皆さんに評価してもらえたことが自信につながり、それが力となって、目標であったプロ野球選手という夢を手にすることができたのだと思っています。

そして何よりも、家族はもちろんのこと、地元皆さんの温かいご声援、指導者や諸先輩方からの激励など、本当に多くの方のおかげだと、今はただ感謝の気持ちでいっぱいです。

「絶対に勝つ」強気でマウンドへ

—自分の持ち味は何だと思えますか？

【小川さん】 周りからは「常に冷静」と思われていますが、自分としては、何事に対しても「強気」などところだと思えます。強気にいるのは、一つは自分に言い聞かせるという意味もありますが、ある先生から教えていただいた「必ず勝つと決めた方が勝つ」の哲学からです。マウンドに上がれば



▲小川選手のサインボール。平成24年12月19日、市長への表敬訪問の際、小川選手から市長に贈られたもの。

「絶対に勝つ」という気持ちしかありません。これまで、迷いや不安を吹き飛ばすだけの練習をしてきたので、これからは自信を持ってマウンドに上がります。そして皆さんに、強気なピッチングを見せたいと思います。

—これからの目標は？

【小川さん】 まずは家族に恩返しをしたいです。自分は5人兄弟の末っ子なのですが、姉たちはやりたいことがあっても我慢していたと思います。そして、特に物心両面で支えてくれた両親には、これからは少しでもいい暮らしをさせてあげたいです。そのためには、一日でも早く、そして一日でも長く一軍のマウンドで活躍する姿を見せることが今の目標です。

—田原市の皆さんへメッセージを

【小川さん】 特に子どもたちには、スポーツや勉強など、何事もやる前からあきらめない気持ちで常に持つてほしいと思います。消極的な成功よりも、積極的な失敗からその原因を見つけ、反省しても決して後悔をしないしてほしいと思います。

市民の皆さんには、これまでもいろいろところで応援や激励をいただけてきました。これからは、自分が活躍することで、皆さんに勇気や感動を与えられる選手になれるよう頑張りますので、応援をよろしくお願いします。